



平成 30 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ダ イ セ キ
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 柱 秀 貴
(コード番号 9793 東証・名証第一部)
問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役 伊 藤 泰 雄
(電話番号 052-611-6322)

長期経営ビジョン策定のお知らせ

当社は、昭和33年10月1日に設立され、本年をもって満60周年を迎えます。当社ならばに当社グループは、設立以来、工場廃液を中心とした産業廃棄物のリサイクル事業を主力とし、かつ周辺事業にも進出する環境創造企業として成長してまいりました。近年、「環境」に対する社会的意識は年々高まっており、当社グループに対する期待も同時に強くなってまいりました。

そうしたなか、2015年9月国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、その具体的行動指針であるSDGs（持続可能な開発目標）が示されました。ダイセキグループも社会の一員としてその精神を理解したうえで社会的役割を担い、かつ企業グループとして持続的成長を遂げていくため、「**環境を通じ社会に貢献する環境創造企業**」という社是のもとに、(別紙)のとおりダイセキグループの2030年に向けた長期経営ビジョンを策定いたしましたので、お知らせいたします。



(別紙)

VISION2030

～アジアNo.1のリサイクル企業を目指して～

1.2030年度に向けた活動の方向性

ダイセキグループは、昭和33年に設立以来60年にわたって「発想・構想・構造・実行」を企業理念とし、日本国内で工場廃液のリサイクル事業をコア事業とし、順次周辺の環境関連事業にも進出し、国内有数の資源リサイクル企業グループに成長してきました。しかしながら今後国内市場は縮小し、かつアジア市場を舞台とした海外静脈メジャーとの競争の激化が予想されます。

こうした背景を受け、ダイセキグループは、海外メジャーと互角に戦える規模と内容を備えるため2030年度に向けた「**33 (サンサン) プロジェクト (*)**」をスタートさせ、**アジアNo.1のリサイクル企業**を目指してまいります。

(*) 「33 (サンサン) プロジェクト」

3事業拠点の開発、3本の新たな主力事業の確立、コア事業国内シェア 30%、現状の3倍の売上高・営業利益を達成し、業界の太陽 (**SUN**) となる。

2.数値目標

	2018年2月期実績	2030年度目標
連結売上高	491億円	1,500億円
連結営業利益	87億円	250億円
R O E	9.9%	15.0%

3.基本戦略

既存事業領域	国内エリア戦略	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業所間連携による希薄なエリアの濃密化 新規事業拠点開発により新規エリアへの進出
	海外エリア戦略	<ul style="list-style-type: none"> アジア市場への進出を念頭に市場調査を開始
	技術・設備開発	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル率の上昇 新規技術・設備導入による取扱品目の拡大
	グループ戦略	<ul style="list-style-type: none"> 人材交流を含めた連携強化によるシナジーの拡大
新規事業領域	M & A 戦略	<ul style="list-style-type: none"> 「環境」「リサイクル」をキーワードとするM&A
	アライアンス戦略	<ul style="list-style-type: none"> 異業種も含めたアライアンスの推進
人材開発	職場環境	<ul style="list-style-type: none"> 働き甲斐も成長も望める職場環境 ジェンダーフリーな職場環境
	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> グループ企業間の人材交流の活発化 教育制度の拡充 新規プロジェクト社内公募制の実施

以上